

立体 x 演劇

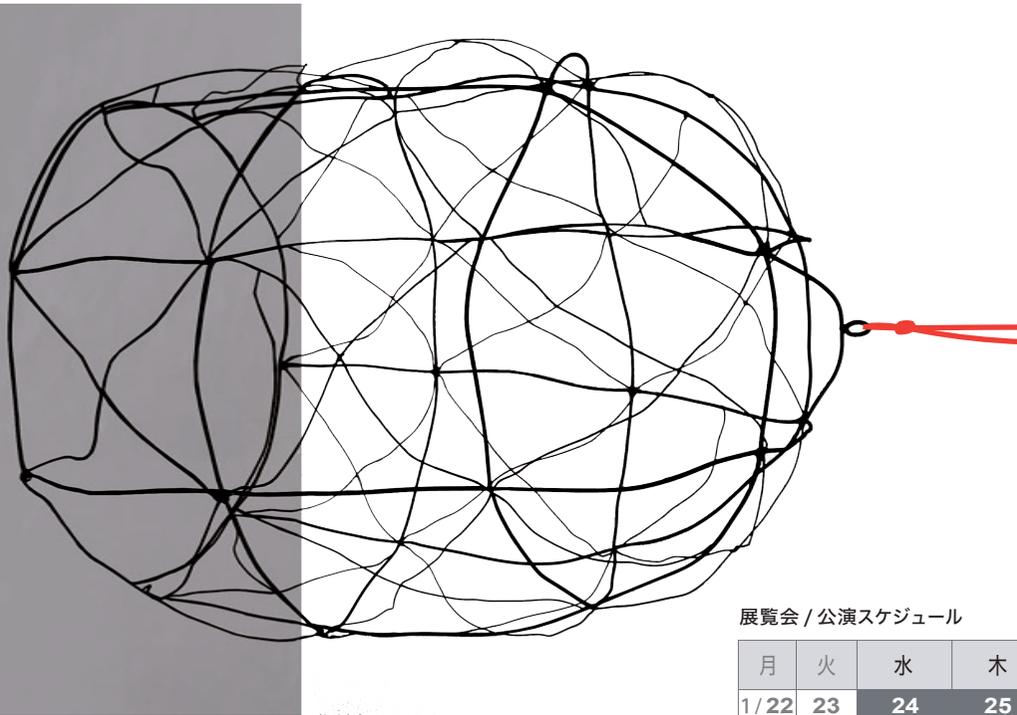
無 顔 FACELESS

浮川秀信・赤星マサノリ

2024年1月10日(水) - 2月10日(土)

pm 12-7 (最終日 ~pm5)

休廊 日・月・火曜 *1/28(日)は公演のみ



浮川秀信

120x120x190cm ピアノ線 2023

展覧会 / 公演スケジュール

月	火	水	木	金	土	日
1/22	23	24	25	26	27	28
休	休	(初日)				休
29	30	31	2/1	2	3	4
休	休			①16:00-	②13:00- ③16:00-	④13:00- ⑤16:00-
5	6	7	8	9	10	11
休	休	⑥19:00-	⑦19:00-		(最終日) ~PM5	休

| 展示作品 | インスタレーション

浮川秀信 立体(ピアノ線)
40 x (40~80) x H(170~190)cm : 5点
120 x 120 x 190cm : 1点

赤星マサノリ 映像、音(モニター、イヤホン 他)

| 会期中催し | 演劇「無顔」

展示空間を舞台にした演劇公演

・参加メンバー

大野凧・松本新・木塚あゆみ・久保田健二・赤星マサノリ

・日時 右記①-⑦(各公演約1時間)

・チケット料金 ¥2,000(一般) ¥500(学生)
(予約制・各回15名限定・税込)

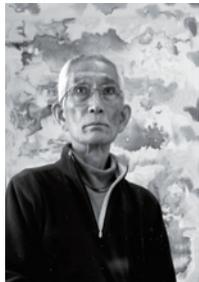
*詳細は+1artホームページをご覧ください。

*公演中は暗くなるので作品鑑賞はできません。予めご了承下さい。

+1art

浮
川
秀
信

UKIGAWA Hidenobu



初期は風船に水を入れて形を作り型取りして、ポッチャリ系の造形を試みていた、そして次第に痩せ細り今ではヒョロヒョロのか弱いピアノ線でのモノ作り。それで空気あるいは空気感を表せるか？ いや空気を捕まえられるかと思案中。

1968年 大阪学芸大学(現大阪教育大学) 絵画専攻科修了。
1969年の初個展(あの画廊)以降、ほぼ毎年個展開催(信濃橋画廊 他)、アートナウ77(1976)、日本国際美術展(1978,79,81)など、70年代から彫刻作品の発表を続け現在に至る。

全く知らない世界の演劇人とのコラボで大いに戸惑ってしまう。最初に思い浮かんだのが能の舞台である、舞台そのものが画廊空間で私の作品は舞台後ろに描かれた松であると、そのことは共演者にも伝えた。しかし後で調べてみると描かれた松は自然の力強さ、常緑の葉に堂々とした幹などに意味があり、安定した確たる世界を表しているとする。私のヒョロヒョロとしたピアノ線を使って出来上がる頼りない世界、これとは真逆である。困ったことになったと悩んだが「ままよこのままで行こう」今のこの世界、どれほど安定したものなのか？と自分自身を納得させて。

赤
星
マ
サ
ノ
リ

AKAHOSHI Masanori



sunday所属、俳優・舞台映像・脚本・演出家。

1999年より劇団☆世界一団(現 sunday)に所属。全作品に参加。その後、一人芝居や二人芝居で全国を廻る。2018年より StarMachineProject を立ち上げ、俳優や映像作家、ミュージシャン、美術家、エンジニア、ダンサーなど様々なジャンルの方と協働し実験的な演劇に取り組んでいる。

この作品は能の道成寺を基にしています。道成寺はさまざまなお話や神話が組み合わさって創られたといわれており、そのため嘘のような出来事が起こります。娘が大蛇になったり大蛇が鐘に隠れた僧を焼き殺したり。しかし今回は娘が大蛇になることも僧が焼き殺されることもない道成寺を創ります。会場では大きな鐘が吊られます。鐘の中の演者から聞こえる肉声はマイクを通じてヘッドフォンに響きます。AIから生成されたものも話しかけてきます。目の前の出来事はヘッドフォンから聞こえる音と繋がっているのか。嘘も本当もある世界を創ります。